

第5回

# 高校生による 岡山の歴史・文化研究フォーラム



「岡山後樂園」

日時 2019年12月15日(日) 9:00~17:00

場所 さん太ホール(山陽新聞社)

■主催: Rotary  岡山北西ロータリークラブ (国際ロータリー第2690地区 第9グループ)

■後援: 岡山県・岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞社・朝日新聞岡山総局・毎日新聞岡山支局  
NHK岡山放送局・KSB瀬戸内海放送・OHK岡山放送・RNC西日本放送・RSK山陽放送  
TSCテレビせとうち (アルファベット音順)



## 開催にあたって

岡山北西ロータリークラブ

会長 山下 浩一

本年も岡山北西RC主催の「高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラムを開催することができました。数多くの皆様に参加していただき心より感謝しお礼申し上げます。

このフォーラムは、青少年の奉仕活動の一環として、2014年から始まり今回で5回目になります。外国の方とお話する時には「あなたのお国はどんなお国ですか?」と互いに聞きます。日本人としては日本の国の事を理解し、良く知っておくほうが良いのです。同様に他の都道府県の方とお話する時は「岡山県てどんな県?」と聞かれた時、誇りを持って岡山はこんな県..と答えて欲しいものです。地元岡山の歴史・文化について学ぶ場として、このフォーラムを運営しています。今までの発表でも数多くの新しい岡山県が紹介されました。住民運動の映画の話、自宅近所の神社の話、瀬戸内海再生の話、マステ(マスキングテープ)の話等々、我々社会人も知らなかったような研究が見られました。中高一貫校も増え、中学生の発表もあります。近年、教育の場も私の時代とは変わり始めています。自分で研究、学習して他の人に発表し、説得するプレゼンテーション能力も求められるようになりました。昭和の時代なら授業で教わった知識を答えれば良かったのです。現代はインターネット等で自分で調べたことを他の皆に自分で話して教える時代なのです。今回も複数の高校が新規に参加されました。教育の一環としても、このフォーラムを利用いただければ幸いです。新しい感性で今までにない切り口の発表を楽しみに待っています。

最後に基調講演をいただく岡田真水先生、審査を引き受けていただいた諸先生方に、この場をお借りしてお礼申し上げます。また、ご後援をいただきました岡山県、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会および新聞・放送局の各メディア、そしてご参加いただきました各高校・中学校の先生方には、本事業の主旨をご理解いただき、ご支援・ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

皆様のお陰で、また新しい岡山の歴史・文化の世界が広がります。

本日の出会いに心から感謝いたします。

**審査員** 國友 道一 氏 公益財団法人 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会 理事長  
(敬称略) 室 貴由輝 氏 岡山県教育庁 高校教育課 参事  
谷本 昌敏 氏 岡山放送株式会社 常勤顧問  
清水 玲子 氏 山陽新聞社 編集局文化部 部長  
藤岡 温 会員 岡山北西ロータリークラブ

以上 5名

## スケジュールのご案内

司 会 岡山朝日高等学校放送文化部  
 那須 大華 さん  
 水玉 凧咲 さん  
 増田 美優 さん

開 会

開会挨拶

岡山北西ロータリークラブ会長 山下 浩一

ロータリーについて

ロータリー財団委員長 小松 忠男

### ◆ 歴史研究発表 ◆

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 点字ブロック発祥の地岡山                              | 岡山龍谷高等学校 選択選抜 RingsA      |
| 2. 日本遺産～「造山古墳」が世界遺産を凌ぐ!～                     | 金光学園高等学校 金光・古墳チーム         |
| 3. 閑谷焼～幻の備前焼の真相に迫ってみた～                       | 岡山県立瀬戸南高等学校 備前焼だいすき       |
| 4. 後世に伝えよう、邑久高の誇りと瀬戸内市の歴史                    | 岡山県立邑久高等学校 地域学「歴史・教育」     |
| 休 憩 ～5分～                                     |                           |
| 5. 人見絹枝から見るスポーツの女性進出                         | 岡山操山高等学校 江口・高橋            |
| 6. 金川の歴史                                     | 岡山県立御津高等学校 日本史Bチーム        |
| 7. 北前船がもたらした繁栄とお茶文化                          | 倉敷翠松高等学校 日本遺産探究Teaークインテット |
| 8. 大國家の今を伝える                                 | 岡山県立和気閑谷高等学校 大國家取材班       |
| 9. 「商品開発」での学習から知った西大寺地域の歴史 ～文豪「夏目漱石」に思いを馳せて～ | 岡山県立西大寺高等学校「商品開発」講座受講者    |
| 昼食休憩 ～45分～ ※20階レストランには、会員がご案内致します。           |                           |
| 10. 御津地域の持続可能性維持をめざした取り組み                    | 朝日塾中等教育学校 中部部3年社会科受講生有志   |
| 11. 維新後の岡山のサムライたち                            | 岡山県立岡山朝日高等学校 歴史研究部        |
| 12. 美観地区のこれから ～空き家を使いいや～                     | 岡山龍谷高等学校 選択選抜 RingsB      |
| 13. 伝統を世界へ!～白石踊で笠岡を世界へ発信～                    | 金光学園高等学校 金光・白石踊チーム        |
| 14. 私たちのでーれー岡山弁                              | 岡山県立瀬戸南高等学校 岡山弁だいすき       |

休 憩 ～5分～

### ◆ 基調講演 ◆

「ふるさと見分け 一災害の世を生き抜くための歴史・地理研究」

兵庫県立大学 名誉教授 岡田 真水 先生

審査発表&表彰

フォーラム実行委員長 西岡 貞則

講 評

審査員全員

閉会挨拶

岡山北西ロータリークラブ副会長 岡本 浩三

★参加高校生・指導者・ロータリークラブ会員全員による写真撮影★

閉 会

## ○ 基 調 講 演 ○



演 題

「ふるさと見分け

—災害の世を生き抜くための歴史・地理研究」

兵庫県立大学 名誉教授 岡田 真水 先生

## 講演内容の要旨

2014年から2019年までの5年間の世界の平均気温が、観測史上最も暑くなり、気候変動の影響が一層加速しています（世界気象機関（WMO）9月22日発表）。それに伴い、50年に一度、100年に一度という水害が毎年のように起こるという事態になっていて、岡山でも2018年7月の西日本豪雨では真備町で51人の死者を出しました。

昨年行われた「第4回高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」では「過去から学ぶ～真備の災害の歴史と防災」という優秀な研究発表が行われたと聞いています。また、日本地理学会でも岡山大学の松多信尚先生らによって真備の水害史についての発表がありました。

それらは明治時代や江戸時代に遡って調査されていましたが、実はこの地域の水害は、すでに『日本書紀』に登場しているのです。このような地域の歴史をよく知っておくことは、ハザードマップの理解と並んで、いのちを守ることに直結するおこないです。

環境哲学には、ある場所の「歴史」を、現在の地域空間に関連付けて考察する「空間の履歴」という考え方があります。歴史は過去に属しますが、履歴は現在に属します。ある人物のひととなりを知るために履歴書を見、面接するように、地域の歴史を紐解き、実際に地域を歩いて「空間の履歴」を知ること。これを環境哲学者桑子敏雄は「ふるさと見分け」と呼びました。

災害の時代を生き抜くにはこの「ふるさと見分け」は大きな力になることでしょう。

基調講演では実際の例を交えて「空間の履歴」と「ふるさと見分け」についてお話します。

## 講師紹介 ○プロフィール

昭和29年（1954年）京都市生まれ。旧姓、川勝。

東京大学文学部卒業後すぐ、備前福岡の妙興寺の行弘と結婚、揃って同大学院に進学。

1982-85年ドイツBonn大学に留学。同大学哲学博士（Dr.Phil.）。帰国後、長男を出産。

1991年日本翻訳文化賞受賞

神戸女子大学講師・助教授（ドイツ語・哲学）を経て、1998年、兵庫県立大学に新設

された環境人間学部に教授として赴任。環境宗教学を創設する。

2004年兵庫県と協働して地域通貨国際会議

2006年世界初の国際ため池シンポジウムを主宰。

2007-2009年新在家キャンパス図書館長。

2014年早期退職。名誉教授。同時に出家。翌年僧籍を取得する。真美子から真水に改名。

日本学術会議第23-24期会員（内閣府非常勤公務員）。

日本宗教学会常務理事。日本湿地学会監事。